



発刊に寄せて

一般財団法人 静岡県社会福祉事業共済会

会長 山本 敏博

静岡県社会福祉事業共済会は昭和43年に発足し、今年で創立50周年を迎えることができました。平成18年に会長を拝命し、記念のこの年を迎えることができたことを大変うれしく思います。

戦前・戦後を通して、社会福祉施設は、その多くがハンディキャップを持つ人々が集まりお互い助け合って暮らしていこう、または篤志家による奉仕と慈善の活動に端を発して設立されたもので、各地でそうした活動をしていた集まり・組織が昭和26年の社会福祉事業法により社会福祉法人制度のもと運営されるようになりました。当時そこで働く職員の労働条件は不安定で、老後の保障も得られない、私生活を犠牲にした過酷な勤務が続いていました。昭和36年には国の共済制度が設立されたのですが、そこで支給される退職金は平均的な所得とされる公務員にはるかに及ばないものでした。

こうした状況下、職員の負担なしで、職員の将来の生活を保障できるよう公務員並みの退職手当が支給できるようにしたいとの気運が高まり、新たな退職共済制度を創設するため、県内の社会福祉法人経営者たちが陳情を重ね、県や市町村、関係団体の協賛を得て助成金や寄付金を募り、基金を造成し、県内社会福祉施設を対象とした共済制度がつくられることとなり、その運営のために本会が設立されることとなりました。

創設当初は、81法人、123施設、1,201名の会員でスタートした本会ですが、平成30年4月1日現在では、348法人、1287施設、27,684名を擁することとなりました。本会の創設と発展に尽力された先人のかたがたの並々ならぬ熱意とたゆまぬ努力に心から敬意を表します。

本会創設から50年、社会構造としては少子・高齢社会の進行、経済的には高度経済成長期からバブル期を経て低成長時代へ、さらには東日本大震災などの幾多の災害を経験し、社会福祉のあり方も期待される役割も変わってきています。

何より雇用に対する考え方も大きく変化ってきています。少子・高齢化により社会全体で労働

人口は徐々に減少しており、社会のあちらこちらで人手不足が叫ばれており、国も働き方改革として、労働力不足の解消に取り組んでいます。また、かつては終身雇用が当然でしたが、現在ではよりよい労働条件を求めて転職することも当たり前ようになってきています。そのような世情にあって福祉の職場が魅力ある職場であるために、退職金制度は一つの大きな要素になると考えられますが、変わりゆく社会情勢にいかに対応していくか、課題も大きいところです。

昭和の中頃、いわゆる高度成長期に誕生した本会は、平成がもうすぐ終わろうという時期に50周年という節目を迎えることとなりました。本会の活動を記録したものとしては創設35周年時に記念誌を発行していますが、より区切りのよいこの年にもう一度歴史を振り返り、今後の運営を見直す礎となるよう、改めて50周年の記念誌を発行することとしました。本書の大部分は35周年記念誌の記載に依っています。散逸しそうだった資料をまとめてくださった35周年記念誌の発行に携わった方々にお礼を申し上げるとともに、福祉の現場で働く職員の処遇向上を企図して創設された初心を忘れず、今後も福祉職場で働く人々の一助となれるよう思いを新たに、発刊の言葉とさせていただきます。



創立 50 周年を祝して

静岡県知事 川 勝 平 太

一般財団法人静岡県社会福祉事業共済会が創立 50 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和 43 年に設立されて以来、県内の社会福祉法人が経営する民間社会福祉施設等に従事している職員の処遇及び資質の向上を図ることを目的として様々な事業を展開され、社会福祉事業の振興に多大な御尽力を頂いております。長きにわたる貴会のたゆまぬ御努力に対し、ここに改めて敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

福祉の分野におきましては、近年の著しい少子高齢化・人口減少により、福祉サービスに対する需要の増大・多様化が見込まれる一方で、人手不足が深刻化しております。福祉サービスの安定的な供給と質の向上を図るため、人材の確保や育成が喫緊の課題となる中、退職共済制度の運営やセミナーの開催等の貴会の取組は、大変意義深いものであります。

県では、富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくりを県政運営の基本理念に掲げ、「安心して暮らせる医療・福祉の充実」や「子どもが健やかに学び育つ社会の形成」などを政策の柱として、福祉サービスの充実や福祉人材の確保などの取組を進めているところです。

貴会におかれましては、今後とも、時代に即した事業の展開など、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人静岡県社会福祉事業共済会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



静岡県社会福祉事業共済会 創立 50 周年に寄せて

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

会長 神原 啓文

一般財団法人静岡県社会福祉事業共済会が、創立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、法人設立以来、県内の社会福祉法人が経営する民間社会福祉施設に勤務する職員の処遇及び資質の向上を図り、社会福祉事業の振興に多大な貢献をされました。これは、歴代会長をはじめ役員、会員の皆様による真摯な御努力の賜物であり、心から深く敬意を表する次第であります。

さて、一口に 50 年と申しましても、この間、福祉を取り巻く社会や経済環境は大きく変化しており、特に 2000 年(平成 12 年)に行われた社会福祉の基礎構造改革では、「個人の尊厳の保持」、「自立支援」、「自ら選択する福祉(福祉の権利性の確立)」という新たな社会福祉の理念が打ち出されました。

一方、我が国では、経済のグローバル化や日本経済の長期的な低迷の中で、産業構造等の変化とともに、非正規雇用の労働者や長期失業者など低所得者層が増加しています。また他の先進諸国でも経験の無い少子高齢化の影響で世帯構造が変化し、単身世帯や高齢者世帯が増え、家族や地域社会とのつながりが希薄化しています。

このような状況を背景に、孤立やひきこもり、世代を超えた貧困の連鎖など、多様で複雑な課題を抱え、既存の制度では支援が難しい方々が増加し、その対応が喫緊の課題となっています。

こうした中で、社会福祉施設職員が資質の向上を図り、安定した福祉サービスの提供を行っていくためには、貴会の役割が益々重要となっています。

静岡県社会福祉協議会といたしましても、「共生・支え合い」による地域社会の実現を目指して、地域を基盤とした幅広い連携・協働の仕組みづくりに取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の御協力をいただきたくお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人静岡県社会福祉事業共済会の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。